

8月号メニュー

あの人紹介：深澤拓也さんインタビュー

夏コラム：かうんせまいみすとうっちーせんせい

とある小旅行～ご利益のヒトマクと「おまけ」

あの人この人こんなひと

ドラムレッスン生 深澤拓也さんインタビュー



深澤さんはもう10年ほどドラムを習っています。
視覚障碍のため、楽譜はすべて
「頭の中」なんです！！
お見事な腕前で、ロック、ジャズ、
何でもござれ。
8月のセレクトライブでもタイプの違う4曲を
披露します。

♪ジャズ練習中～♪



★ドラムを始めたきっかけは？

高校生の頃に友達がやっているのを見て、
自分もやってみたくて始めたのが始まりでした。
見よう見まねでやってみたところ、
意外と簡単にできたので、
自分に合っているんじゃないかと思いました。
まさか
これだけ長い間続くとは思っていませんでした。



★今後やってみたい曲は？

今後はブラシを使った曲にも挑戦したいですね。
とにかく、
いろんなジャンルを叩けるようになるのが目標です。

★今はまっていることは？

最近散歩にはまっています。
新型コロナウイルスの影響で
仕事が減ってしまったこともあり、
昼休み中の時間を持て余すことが増えたので、
「何か暇つぶしはないか」
と始めてのがきっかけです。
体も鍛えられるし、
何より今まで感じられなかった景色をゆっくり感じられるのが
とてもよいです。



ありがとうございました。

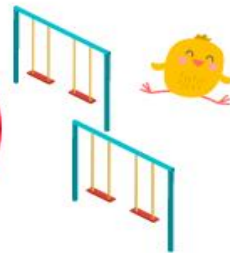
益々進化を続ける

ドラマー・Takuyaの演奏を

是非一度聴きにいらして下さいね！

(コロナが終息してから)

かうんせまいみすと
うちーせんせい 夏コラム
夏独特の懐かしい香りを感じてお読みください



この原稿を書いている現在は
2020年7月16日でありまして、
東京を含め全国的に梅雨がまだ明けておりません。
今年の梅雨明けは遅くなりそうな感じですね。
これを読まれているあなたにとっての夏は
どんなシーンを思い浮かべますか？

僕はこんな感じです。

露天でたこ焼きを買い喰いしながら
夜空にあがる花火に酔いしれて、
田舎に帰ったら
キンキンに冷えた飲み物片手に
山間に落ちてゆく夕日を眺め、
縁側で少し塩を効かせた枝豆をパクリと一つ。

想像しただけでも最高ですわ。

昨今、
コロナの影響で
普段の生活がしにくい時期ではありますが、
こんな夏が戻ってきてくれることを
祈るばかりです。

夏になると、頭の中でかかる曲がありまして、
それがこちら

久石譲「菊次郎の夏 SUMMER」
という映画のサントラテーマ曲であります。

映画公開が1999年ですから、
かれこれ21年前の楽曲なんですね。
名曲はいつになっても古く感じませんなあ。

夏の夕方、ひぐらしの鳴き声が聞こえてくると、
この曲が脳内BGMとしてかかりまして、
夏にいる自分を実感するのであります。

もしかすると、
今年は
そんな夏を体験できないかも知れませんが、
思い出(理想)の夏に、
少しばかり浸るのも悪くはないですよ。

イメージすれば叶うといえますね。

皆さんにも、良き夏が訪れますように。

内田将大

とある小旅行～ご利益のヒトマク

ああ、あの日は不思議だった！

★シーンその1

数年前、まだ学生だった娘と
トシヤ講師・真理講師の3人で
(息子は不在だった)
寅さんで有名な柴又へ1DAYことりっぽ。
～～波いね～～

駅前の寅さんの銅像、
寅さん風案内人、
昭和チックな参道に立ち並ぶ商店街・
商店街に並ぶ数多の草だんご屋さん。
その一軒で、
1つから買える草だんごを立ち食い。
いや美味いこと！
帰りに箱で買って帰ろうと意見が一致。
商店街を抜けて人々賑わう帝釈天参拝。
有料区域にある素晴らしい彫刻に感動。
さあ、次は寅さん記念館へGO! だ!

★シーンその2

おんや??
帝釈天門を一步出たところに
ポツンと落ちている鍵ひとつ。
小さめだけれど立派なカギ。
もしかしてどこぞのホテルのカギ?
旅行者が落とした?
失くした人はさぞ困ることだろう。
帝釈天内に戻り、お守り売り場の係の人に
「そこに落ちてましたー」と事情を話し
預かってもらったのでした。

★シーンその3

寅さん記念館まで歩いて10分ほど。
たっぷり見たり写真を撮ったりして
近くをさらに散策。
結構歩いておなか空いてきた。
帝釈天商店街に戻り、
たまたま空いていた天井屋さんにIN!

★シーンその4

狭い店内に香る、天井の香ばしい匂い・・・。
お客もどんどん入ってきて
あっという間に満席。
ん??
家族で入ってきたすぐ隣の席のおじさま、
体をくねって不思議な動き。
奥様らしい女性の「えー、うっせー!」の声。
トシヤ講師がおじさまの声を聞きつける。
「カギが無いつて言ってるみたい」
なぬ?? カギだと? まさかアレでは?
まり講師おじさまに声を掛ける。
「あのお、この位の大きさの黒いカギでは?」
「そおですっ!!」

帝釈天内に預けて来た旨話すと
脱兎のごとく消えたおじさま。
残ったご家族からひたすら頭を下げられ・・・
ているうちにあっという間に帰ってきたおじさま。
「ありがとうございました!!」

🌟シーン4の5

笑顔满面のおじさまの手には草だんごの箱が。

「これお礼ですっ！！」

何と！

買って帰ろうと思っていた草団子が
われらの元に！！

いや、逆にありがとうございますー

❤️エピソード

りっぱなカギは自転車のカギだそうで。

(立派すぎて自転車とは思わなかった)

奥様曰く「帰れないところでした」

(自転車で来れる距離の人だったのね)

それにしても、

カギを拾ってから相当時間が過ぎていたのに

① たまたま入った天丼屋さんで

(人気店につき並ばずに入れたのが奇跡だったと
後に知った・・・)

② カギの落とし主と隣の席になり、

③ 買おうと思っていた草だんごを貰い・・・。

ご利益(りえきじゃないのよ)って

こういうことかしら??

まあ、ほんと、めぐりめぐってこの不思議。

不思議といえば、

娘は大のあんこ嫌い。

なのに草だんご食べたいと言い出して

1つたべたら追加注文。

合計3個も食べて・・・。

帰宅してからも

おじさまから頂いた草だんごをほおぼり。

この時から娘は・・・とはならず、

この草だんご以外やはり食べません。

半年後。

そんな不思議なことりっぶを語りつつ

また草だんご食べたいという娘と息子も連れて

4人で再び帝釈天にことりっぶしたのです。

で、その時は・・・

何も起こりませんでしたよ 😊

おまけ 寅さん知ってる?

「わたくし、生まれも育ちも東京葛飾柴又です。

帝釈天で産湯を使い、姓は車、名は寅次郎、

人呼んで"フーテンの寅"と発します。」

『男はつらいよ』、フーテンの寅さんの口上です。

演じる渥美清さんは紫綬褒章・国民栄誉賞などを受賞した俳優さんです。

商店街にある草だんご屋さんが寅さんの実家、

という設定で、実際の店舗で4作目まで撮影が行われたそうです。

今でもBSなどで映画が放送されていますね。

ペーソスあふれた寅さん。

決してエリートではないけれど

「本当にいい奴」なんですね。